

(S2020-29 用)

研究課題名	当院における緊急外科的気道確保症例の特徴
研究期間	西暦 2020年 11月 5日 ~ 西暦2022年3月31日 (登録対象症例：西暦2012年4月1日～ 西暦2020年8月31日)
研究の目的と意義	病院で治療をうける患者さんのなかには、内科・外科疾患によらず、気道のトラブルのため、緊急気道確保が必要な患者様さんが一定数存在します。通常は気管挿管にて気道確保が行われますが、種々の問題のため気管挿管が困難な症例においては、外科的気道確保と言われる観血的手技が必要な場合もあります。しかし、外科的気道確保を要する症例は非常に稀であるため、適切に手技を行うためのフィードバックが必要です。適切なフィードバックを行うことは、患者さんの救命に繋がります。この研究は過去に外科的気道確保が必要だった患者さんの特徴や、合併症の特徴などを調べることを目的としています。
研究方法	2012年4月1日から2020年8月31日までに受診または入院された患者さんをカルテで振り返り、緊急気道確保が必要な症例であったかどうか、気管挿管が可能であったかどうか、外科的気道確保が必要であったかどうかを抽出します。外科的気道確保を行った患者さんに関しては、診断、手技等に関する特徴を検討します。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません。(公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです)。
問合せ先	京都第二赤十字病院 (職名・氏名) 救急科・医師・岡田 麻美 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)